記者発表資料

令和７年１０月２４日
秋田河川国道事務所
秋　　田　　市

大規模氾濫を想定した危機管理演習を行います

危機管理演習は、雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会における「雄物川の減災に係る取組方針」に基づき、大規模氾濫を想定し、ロールプレイング方式により行います。
本演習は、今後の大規模氾濫時への備えとして、河川管理者と自治体が協力して作成した”避難指示等の発令に着目したタイムライン”の検証・改善および防災対応行動の確認・習熟を目的とするものです。今回は、秋田市と秋田河川国道事務所が合同で実施します。

※雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会について
雄物川の大規模氾濫による被害軽減を図るため、市町村、県、国等が連携・協力して実施するハード・ソフト対策を「雄物川の減災に係る取組方針」として策定し、減災のための各種取り組みを行っているものです。

※ロールプレイング方式について（詳しい内容は別紙資料を参照願います）
指揮部（コントローラー）と演習部（プレイヤー）に分かれ、シナリオを一切知らされていない演習部が指揮部から与えられる災害情報等を、収集・分析し、実際の災害時を想定して適切に状況判断を行い行動していく演習方式です。

＜危機管理演習＞
１．日時：令和７年１０月２９日（水）８時４０分～１１時３０分
２．場所：秋田市役所　災害対策本部室室（本庁舎３階）
秋田河川国道事務所　災害対策室（３階）
３．参加機関：秋田市、秋田河川国道事務所　　合計　約１００名

＜講評＞
１．日時：令和７年１０月２９日（水）１１時４０分～１２時００分
２．場所：秋田市役所及び秋田河川国道事務祖の両演習会場において TV 会議にて実施
３．内容：演習の講評など

※注意事項
１）取材を希望される報道関係者の方は、１０月２８日（火）１２時までに「別紙申込書」記載の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただきますようお願いします。
２）当日の気象、水質事故、地震等の状況により延期となる場合があります。

※発表記者会　秋田県政記者会・秋田市政記者クラブ

＜問い合わせ先＞

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
住所　秋田市山王一丁目１０－２９
電話　０１８－８６４－２２８８（流域治水課直通）
副所長（河川）　木村　博英（内線２０４）
専門調査官　三上　真範（内線５１２）
秋田市　総務部　防災安全対策課
住所　秋田市山王一丁目１－１
電話　０１８－８８８－５４３４（直通）
課長　澤田石 真　（内線２１５００）
防災主幹　糸井　真　（内線２１５００）

別紙申込書

送信先：秋田河川国道事務所　流域治水課あて
thr-751ryuiki@ki.mlit.go.jp

「大規模氾濫を想定した危機管理演習」
取材（傍聴）申込書

取材を希望される報道関係者の方は、以下の必要事項を電子メール本文に記入のうえ、ご連絡いただきますようお願いします。

電子メール送付期限：令和７年１０月２８日（火）１２：００

1．会社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3．連絡先（TEL） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4．取材先
秋田河川国道事務所 or 秋田市 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

5．取材人数
（代表者を含む） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

6．テレビカメラの有無 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

「有」の場合
（テレビカメラの台数） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

7．その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※注意事項
・当日演習開始前の取材は原則お受けできません。
・演習内の写真・テレビ撮影は、「演習開始８：40から終了11：30まで」といたします。
・演習中は、写真・テレビ撮影は可能としますが、演習者への取材等はお受けできません。
・演習終了後（11：30から10分程度）、記者ブリーフィングを演習室にて行います。
・上記の他、演習を円滑に進めるため、事務局の指示にご協力をお願いします。

令和7年度　雄物川危機管理演習

概要資料

令和7年10月

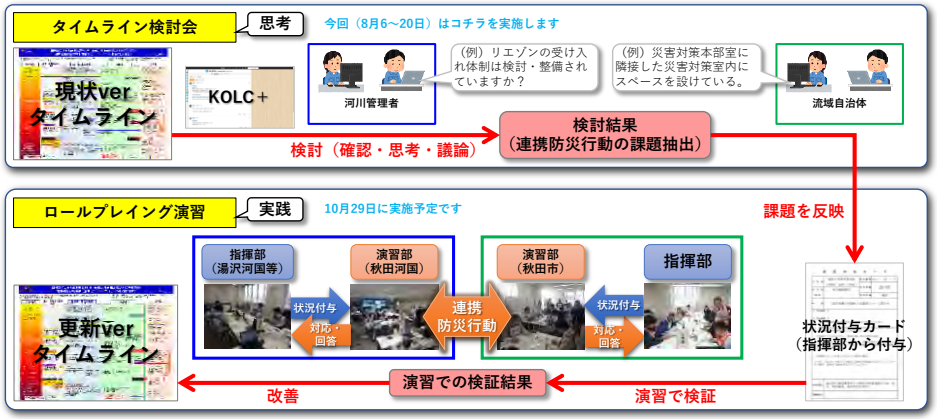
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所

令和7年度　雄物川危機管理演習　概要①

1. 演習目的

本演習では**「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取り組みの一環**として策定された「前線に伴う洪水等を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）（案）」に基づき、「ロールプレイング型図上演習」を実施し、**タイムラインの有効性を検証・改善**するとともに**災害初動期の対応行動および河川管理者の上下流の連携行動の確認および習熟**を目的としている。

災害対策本部（支部）の運営について実践的に訓練する「ロールプレイング型図上演習」を実施することを基本とする。ロールプレイング型図上演習に先立ち「タイムライン検討会」を実施して、タイムラインの連携防災行動について確認・思考・議論し、課題を抽出しておくことで、個別防災行動だけでなく、連携防災行動の課題解決を意識した質の高いロールプレイング型図上演習の実施につなげる。



タイムライン検討会とロールプレイング型図上演習の流れ

2. 演習参加機関

本年度、演習部として参加する主体機関は、河川管理者として「秋田河川国道事務所」、流域自治体として「秋田市」である。

指揮部	演習部
・秋田河川国道事務所　・秋田市 ・秋田県　・横手市　・大仙市　・仙北市　・美郷町 ・秋田地方気象台　・JR東日本秋田支社　・東北電力 ・防災エキスパート　・湯沢河川国道事務所	・秋田河川国道事務所 ・秋田市

3. 過去の演習実績

実施日	演習方式	参加主体（河川管理者）	参加主体（流域自治体）
平成29年11月2日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	横手市
平成30年11月1日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	湯沢市
令和元年11月20日	ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	大仙市
令和2年 ※感染症拡大のため延期	ロールプレイング型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市
令和3年11月26日	討論型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市
令和4年8月23日 令和4年11月8日	タイムライン検討会 ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	横手市
令和5年8月10日 令和5年11月17日	タイムライン検討会 ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	湯沢市
令和6年7月24日 令和6年10月23日	タイムライン検討会 ロールプレイング型図上演習	湯沢河川国道事務所	大仙市
令和7年8月 令和7年10月29日	タイムライン検討会 ロールプレイング型図上演習	秋田河川国道事務所	秋田市

4. 開催日・会場

◆開催日：令和7年10月29日（水）
◆会場：①秋田河川国道事務所、②秋田市役所
※演習は、①、②の２会場で同時に実施
※演習直前説明および演習後の講評は、ウェブ会議で実施

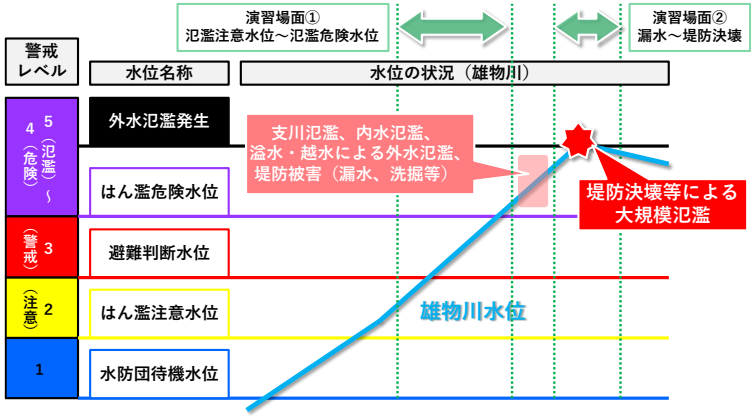
5. 演習スケジュール

時刻	次第
08:30　～　08:35（5分）	開会・挨拶
08:35　～　08:40（5分）	演習直前説明・初期情報の確認
08:40　～　11:30（170分）	**演習**
11:30　～　11:40（10分）	休憩・準備
11:40　～　12:00（20分）	演習後の講評

令和7年度　雄物川危機管理演習　概要②

6. 演習場面

雄物川流域において大規模洪水の発生を想定する。太平川、猿田川等の県管理河川の水位が上昇し、氾濫が発生する中で、雄物川の水位も急激に上昇し、住民避難等の災害対処活動が切迫する時間帯を演習場面①とする。その後、雄物川の堤防が決壊するに伴い、外水氾濫が発生し、住民の緊急避難、2次避難、救出、堤防の応急復旧等を実施する時間帯を演習場面②とする。



参考　ロールプレイング型図上演習とは

- 災害対策本部の運営について効果的に訓練するための図上演習の方式。
- 大規模災害を想定した状況（被害想定、シナリオ）をつくり、図上で災害を模擬体験する。
- 演習を受ける側（演習部）と運営する側（指揮部）に分かれる。指揮部はシナリオを知っているが、演習部はシナリオを知らされていない。
- 演習部は、指揮部の演じる役割（関係機関、住民など）からの情報を収集・整理・分析し、状況判断の上、なすべき行動を決断・指示して、実施後の報告を受けるという一連の動きについて訓練する。





ロールプレイング型図上演習の様子（左：演習部、右：指揮部）

7. 演習対象地域

・市町村域：主に秋田市域
・河川　　：雄物川、岩見川、太平川、旭川、猿田川等

8. 主要演習項目

訓練場面	主要演習項目	秋田河国	秋田市	湯沢河国
共通	情報収集・整理・共有	●	●	－
	リエゾン、ホットラインを介した情報提供・情報共有	●	●	－
	収集整理した情報に基づく今後の見通し分析	●	●	－
	現場要員への適切な情報提供・指示	●	●	－
	住民・マスコミからの問合せ対応	●	●	－
演習場面① （氾濫危険水位到達前後）	避難情報発令のための情報提供・助言 （水位予測、洪水予報、漏水情報）	● 提供側	● 要請側	－
	避難情報発令・避難支援 （避難指示発令、避難所開設、広報）	－	●	－
	災害対策用機械による減災対応 （要請・派遣、設置、内水浸水区域の排水）	● 派遣側	● 要請側	－
演習場面② （堤防決壊前後）	避難情報発令のための情報提供・助言 （水位予測、洪水予報、浸水情報）	● 提供側	● 要請側	－
	避難情報発令・避難支援 （緊急安全確保、避難所開設、2次避難、救助、広報）	－	●	－
	災害対策用機械による減災対応 （車両・要員避難、外水浸水区域の排水）	● 派遣側	● 要請側	－
	決壊箇所の復旧	●	－	－
上下流連携	排水活動に関する判断	●	－	●
	防災活動に関する情報交換	●	－	●

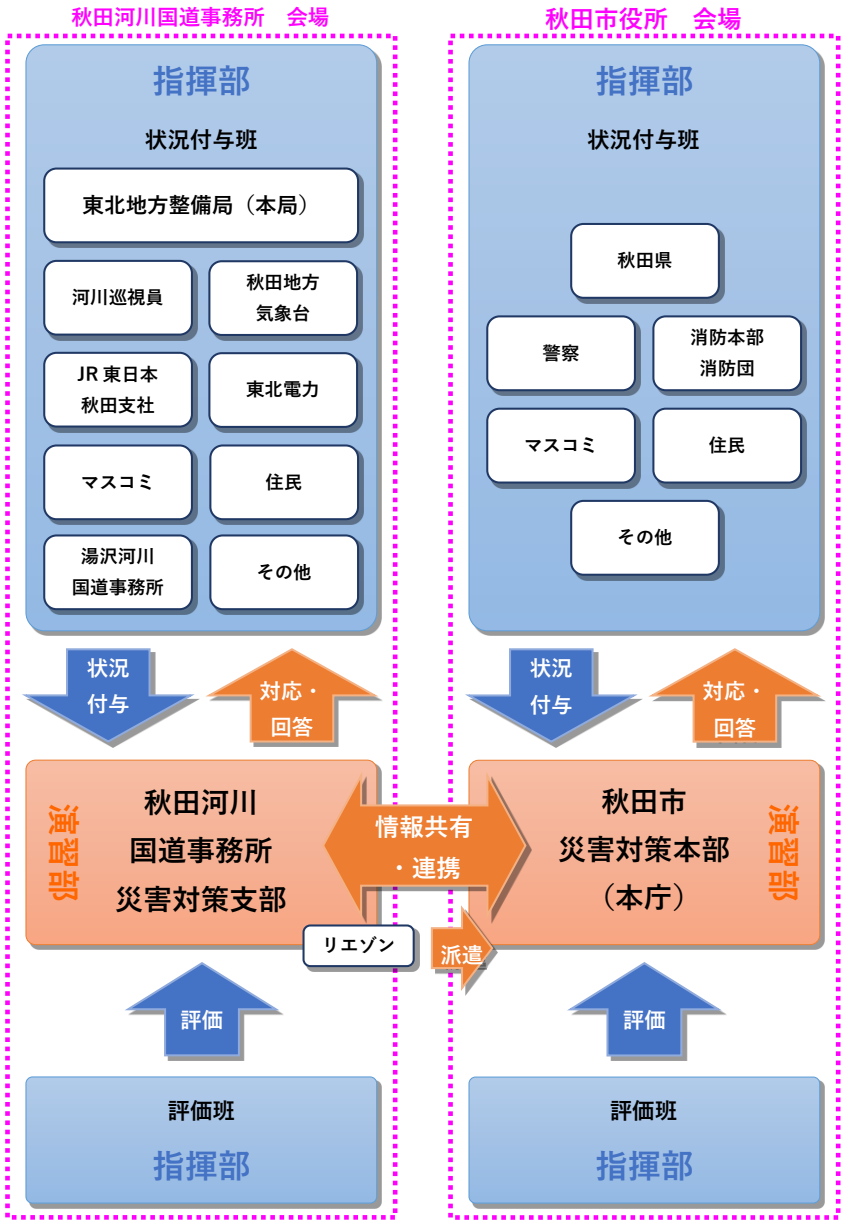
9. タイムライン検討会での検討項目

・実施日：令和7年8月6日～8月29日（オンライン掲示板方式で実施済）

検討事項	検討内容（概要）
①リエゾン派遣に関して	・リエゾン派遣のタイミングの確認
②災害対策用機械派遣に関して	・排水ポンプ車の要請方法の確認　・内水常襲地区の確認 ・排水ポンプ車の派遣に要する時間の確認
③洪水予報に関して	・洪水予報（氾濫する可能性のある水位）の確認
④～⑥ホットライン、水位の見込み、漏水・浸水情報の提供に関して	・ホットラインで提供してほしい情報の確認 ・ホットライン内容の機関内情報共有方法の確認 ・水位の見込み情報の活用班の確認
⑦雄物川上下流の連携行動に関して	・排水判断　・防災活動に関する情報交換

令和7年度　雄物川危機管理演習　概要③

10. 演習実施体制



スケジュール

時刻	次第	会場①（秋田河国）	会場②（秋田市）
08:30～08:35（5分）	開会・挨拶 （2会場をウェブ会議接続）	◆代表者の御挨拶（秋田市）	
08:35～08:40（5分）	演習直前説明 （2会場をウェブ会議接続） 初期情報の確認	◆注意事項説明 ◆初期情報の確認	
08:40～11:30（170分）	演習 08:40～10:30　演習場面① 10:30～10:40　演習場面②の初期情報説明 10:40～11:30　演習場面②	◆演習実施	
11:30～11:40（10分）	休憩・準備	◆会場準備	
11:40～12:00（20分）	演習後の講評 （2会場をウェブ会議接続）	◆シナリオ概要説明 ◆代表者の意見・講評	